

SELENE.GA4K

Google Analytics を携帯サイトで利用する方法

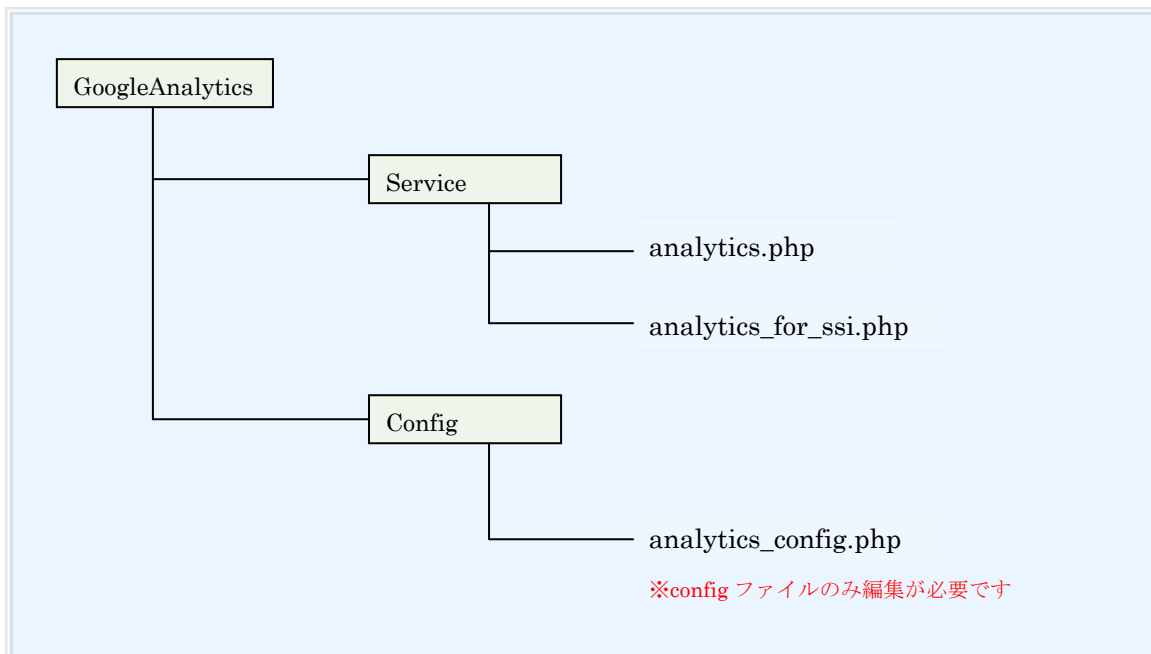
第二稿

2008/12/29

1. リソース構成

GoogleAnalytics を携帯サイトで利用するためのリソースの構成を以下に示します。

開発者は GoogleAnalytics ディレクトリを適切な場所に配置し、config ファイルの設定を行う必要があります。詳細の手順は、2 章、3 章にて説明します。




2. PHPベースでサイトを構築している場合（動的サイト）の設定手順

PHP ベースでサイトを構築している場合の設定手順を以下に示します。

手順 ① Google AnalyticsのサイトにアクセスしウェブプロパティIDとウェブサイトのURLを確認します

■Google Analyticsの設定確認



Analytics 設定 > プロファイル設定 > トラッキング コード

トラッキング コード

トラッキング ステータス情報

プロファイル名: labs.exbridge.jp/mb_recruit

ウェブサイトの URL: http://labs.exbridge.jp/mb_recruit

ウェブプロパティ ID: UA-3280670-24

トラッキング ステータス: データを送信しています

トラッキング コードの追加手順

新しいトラッキング コード (ga.js) | 以前のトラッキング コード (urchin.js)

上記のトラッキング コードを、トラッキング対象のすべてのページの </body> タグの直前にコピーします。動的コンテンツを使用するサイトでは、共通のインクルードまたはテンプレートをご利用いただけます。詳細

このトラッキング コードを使用すると、今後提供されるさまざまな新機能をご利用いただけます。

```
<script type="text/javascript">
var gaJsHost = (("https:" == document.location.protocol) ? "https://ssl." : "http://www.
document.write(unescape("%3Cscript src=" + gaJsHost + "google-analytics.com/ga.js" +
</script>
<script type="text/javascript">
var pageTracker = _gat._getTracker("UA-3280670-24");
pageTracker._trackPageview();
</script>
```

手順 ② 手順①で取得したID、URLを元にanalytics_config.phpを設定します

■analytics_config.phpの設定

```
<?php
//=====
//Google Analyticsの設定
//=====
define('ANALYTICS_ID', 'UA-3280670-24');
define('WEBSITE_DOMAIN', 'http://labs.exbridge.jp/mb_recruit');
```

手順 ③ analytics.php、analytics_config.phpを適切な場所に配置し、インクルードします

手順 ④ analytics.php内の関数sendGoogleAnalytics()を適切な場所から呼び出します

```
<?php
~ (中略) ~
sendGoogleAnalytics(ANALYTICS_ID, WEBSITE_DOMAIN);
```

以上の設定で、携帯電話（モバイル）からアクセスされた情報が GoogleAnalytics へ送付されアクセスの解析が行えるようになります。

3. HTML ベースでサイトを構築している場合（静的サイト）の設定手順

HTML ベースでサイトを構築している場合は **SSI** (Server Side Include) という技術を利用します。
サーバ上に PHP 実行環境がインストールされている必要があります。また、動的サイトの場合と異なり、単体の PHP ファイルを用意し、HTML と .htaccess ファイルに修正を加える必要があります。
設定手順は以下の通りです。

手順 ① .htaccess ファイルを修正します

```
Options +FollowSymLinks +ExecCGI
Options +Includes
AddHandler server-parsed html

<IfModule mod_php4.c>
  php_flag magic_quotes_gpc Off
  php_value max_execution_time 6000

~ (以下略) ~
```

この 2 行を追記します

手順 ② analytics_config.php を設定します

■ analytics_config.php の設定

```
<?php
//=====
//Google Analyticsの設定
//=====
define('ANALYTICS_ID', 'UA-3280670-24');
define('WEBSITE_DOMAIN', 'http://labs.exbridge.jp/mb_recruit');
```

手順 ③ 解析を行いたい HTML ファイルに analytics_for_ssi.php を include します

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Transitional//EN"
"http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-transitional.dtd">
<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" xml:lang="ja" lang="ja">
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift-JIS" />
  <title>mobile analytics test</title>
</head>
<body>
<!--#include virtual="/GoogleAnalytics/Service/analytics_for_ssi.php" -->
</body>
</html>
```

以上の設定で、携帯電話（モバイル）からアクセスされた情報が **GoogleAnalytics** へ送付されアクセスの解析が行えるようになります。

4. クローラからのアクセスを無視するための設定手順

Google Analytics を標準で導入すると、検索エンジンクローラからのアクセスもカウントされてしまいます。また、PC 用ブラウザで閲覧された場合にも、カウントされてしまいます。

本ライブラリでは、携帯端末からのみの純粋なアクセスを解析できるよう、クローラからのアクセスを無視する設定を設けています。

設定手順は以下の通りです。

手順 ① analytics_config.php を設定します

■ analytics_config.php の設定

```
<?php
/=====
//各種設定
/=====
//モバイルのみのアクセスを解析する場合 true、全てのアクセスを解析する場合は false を設定
define('MOBILE_ONLY_FLG', true);
```

手順 ② 携帯端末の UserAgent に変更があった場合は analytics_config.php を設定します

※デフォルトでは以下が設定されています (DoCoMo、SoftBank、KDDI、WILLCOM)

■ analytics_config.php の設定

```
<?php
/=====
//User Agent 判定用正規表現の設定
/=====
define('USER_AGENT_PATTERN_DOCOMO', '^DoCoMo');
define('USER_AGENT_PATTERN_SOFTBANK', '^SoftBank|^J-PHONE|^Vodafone|^MOT-');
define('USER_AGENT_PATTERN_AU', '^KDDI-|^UP. Browser');
define('USER_AGENT_PATTERN_WILLCOM', '^Mozilla/3.0*(?:DDIPOCKET|WILLCOM);');
```